

令和6年度第2回羽島市男女共同参画懇話会会議要旨

日 時	令和6年11月12日（火） 14時00分～15時00分
場 所	羽島市役所 4階 第1委員会室
出 席 者	（委員）出席者6名 北村直子会長、安藤理加副会長、山田小百合委員、加藤隆康委員、宇野恵利子委員、野村美奈委員 （事務局）出席者12名 松井市長、伊藤市民協働部長、北垣市民協働課専門官、富田市民協働課長、奥村同課課長補佐、松尾同課主査、高田子育て・健幸課長、國井子育て・健幸担当課長、加藤子ども家庭センター所長、岩田職員課長、高橋学校教育課長、吉川商工観光課長補佐
内 容	1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 協議事項 （1）次期「男女共同参画プラン」の素案について ・事務局より資料に基づき説明 ・事前質問について、各担当課より回答（市民協働課、子育て・健幸課、子ども家庭センター、学校教育課、商工観光課） 【意見・質疑】 （委員） ・資料3 44 ページ「施策 NO.8 性の多様性の理解促進」について、「性自認、性的志向、LGBTQ+の内容について知っている人の割合」を現状値 47.4%から目標値 60%と定められている。岐阜県パートナーシップ宣誓制度の周知啓発はあるが、これは当事者のための制度であると思われる。この制度を周知するだけでなく、周囲の理解が不可欠であると考え。市民への理解を深める活動をどのようにされる予定か。 （事務局） ・こちらの現状値 47.4%については、市民意識調査の結果であり、前回調査と比較し、数値が上がっている。様々な性の多様性があるということを市民に知っていただくということは、理解しても

	らうための非常に大切な入口であると考えており、認知度を上げること为目标とし、目標値 60%を定めた。市民の理解をどのように深めていくかについては、次のステップであると考えている。 ・岐阜県パートナーシップ宣誓制度の取組についても始まったばかりであり、研修を受講するとともに、岐阜県の動向を見ながら次のステップについて考えていきたい。 (委員) ・資料 3 7 ページ、外国人が増加していると記載されているが、災害が発生した際に、サポート体制をどのように行うか考えているか。 (事務局) ・災害時の外国人の方へのサポートについて、羽島市国際交流協会と危機管理課とが連携し、防災セミナーを 1 年に 1 回開催している。今年度も開催したところであり、外国人及び日本語ボランティア合わせて 14 名程度の参加があり、地震や台風発生時の避難方法などについてお伝えした。 ・災害発生時は、災害時語学ボランティアを岐阜県より派遣されることとなっているが、羽島市ではどの避難所にどの外国籍の方が何名という情報を報告する必要がある。 ・災害発生時は日本人も外国人の方も分け隔てなく被災者であり、災害時に対応ができるよう、日々の訓練や、このようなセミナーを開催し、万が一に備えたいと考えている。 (委員) ・学校という職場においては、男女共同参画の意識がかなり進んでおり、ここ数年で男性の育児休暇取得が大変増加している。増加理由としては、情報発信や啓発によるものが大きいと考える。リーフレット等の情報発信など、積極的に進めていただきたい。 ・幼少期からの男女平等の意識の醸成に向けた取組の推進について、学校内においては、男女平等の意識を持って生活している人が多いと思うが、子どもたちを育てている親世代、祖父母世代の方々が偏った考え方を持っている人がかなりいらっしゃると思われる。そういった方々へのアプローチや働きかけを考えていただきたい。 (事務局) ・今回、子どもだけでなく、子どもたちを育てる保育士の方々への
--	---

	施策と、家庭向けにリーフレットを配布するという新規施策をあげている。 ・過去の計画においては、幼少期の子どもたちに向けた施策は無く、市役所内で開催した部長級の会議において、この部分に対する施策を加えるよう意見があり、それを受けた施策が、「施策 No. 11 幼少期からの男女平等意識の醸成に向けた取組の推進」である。 ・今まで、中学生向けに男女共同参画の啓発リーフレットを作成し、学生向けに男女共同参画意識の醸成を図ってきたが、小さい頃からそのような意識をもってもらうことが大切だと考え、就学前の子どもたちも対象に含めた「施策 No. 11 幼少期からの男女平等意識の醸成に向けた取組の推進」及び「施策 No. 16 家庭向け啓発リーフレットの作成と配布」を新規施策として追加した。 (委員) ・災害時の対応として、命を守るという意味では、外国人であっても協力し合えらと考える。ただ、地域の中に外国人の方が入っていくことは難しいと感じる。 ・外国人の方々への防災対策について、職場における外国人に対する災害対応と、住民としての災害対応を両方を行っていく必要がある。 (事務局) ・市においても、多言語表記などの外国人の方を意識した対応を行っていきたい。 5 閉会
--	---